

CleanManager Biz WebSite

[UPDATE: 2025/01/27]

次世代型管理システム CleanManager®

クリーンマネージャー®は、建物や設備の定期点検・サービスを一元管理する新世代型総合マネジメントクラウドサービスです。3次元スケジューラー®機能を利用し、スケジューリングから記録、報告、請求までを効率的に管理、取引先を含めた関係者全員でリアルタイムに情報共有します。



クリーンマネージャーの特徴

1

総合マネジメント

スケジュールの作成～管理、報告、請求データの作成まで、日々の業務を効率的に管理します。

3

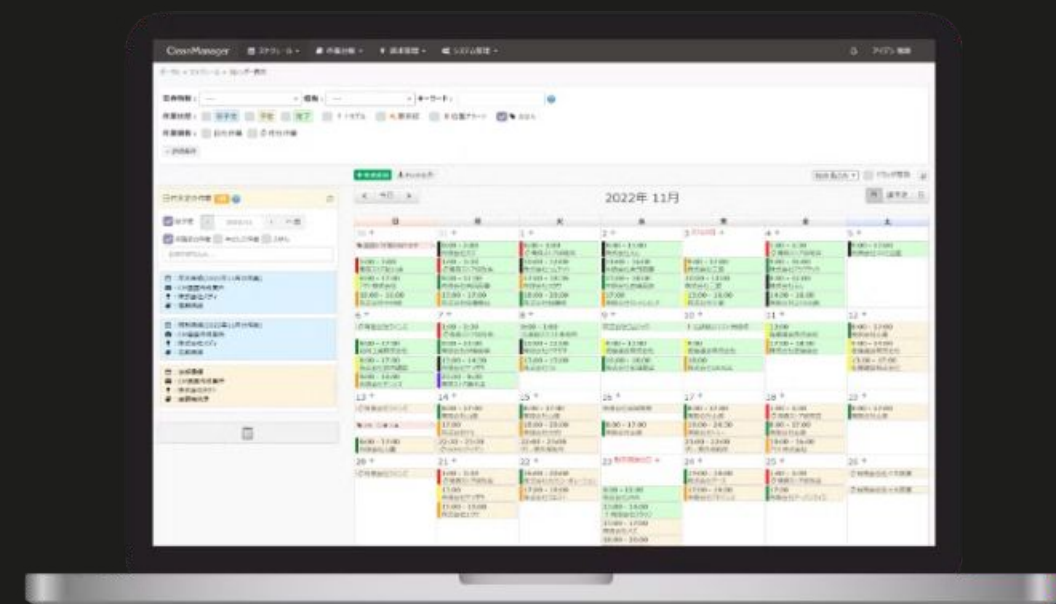
多業種対応

ビルメンテナンス業の様々な業務をはじめ、様々な業種でもご利用いただけます。

2

リアルタイム共有

関係者全員でスケジュールや報告内容をリアルタイムに共有・管理できます。



対象ユーザーと主なメリット



現場作業主体の企業

煩雑な業務管理や従業員への連絡が円滑に進み、現場作業や段取りに集中できます。



代行・一元管理主体の企業

委託先や得意先との連絡を含めた時短を実現し大きなコスト削減効果を発揮します。



物件・設備オーナー

管理会社への依存度が低減しつつ、情報共有がスムーズに進み、自社物件や設備をリアルタイムで管理できます。

単独利用のメリット



業務効率の向上

スケジュール管理から請求データ作成まで、様々な業務を効率的に行えます。



コミュニケーション活性化

共有メモ機能で従業員間のコミュニケーションを円滑にできます。



情報共有の効率化

スケジュール作成や変更時、メンバーにメール連絡をすることができます。

社内業務を途切れることなく最適化、シームレスな一元管理システム



毎日の業務



現場連絡・報告



月次の業務

毎日の業務

スケジュール管理、対応記録、事前届、業務連絡、報告確認・管理

月次業務

月次報告、請求管理業務、スケジュール作成、出退勤・作業参加確認

現場連絡・報告

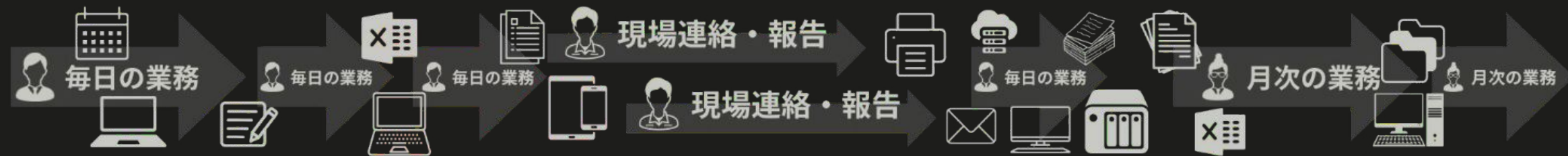
作業確認、作業点検、作業報告、作業参加報告、トラブル報告

複数人で行う日々のデスクワークや月次処理、さらに現場作業員との連絡や報告を、このシステムで一元的に管理できます。情報伝達や共有の無駄がなくなり、社内業務が円滑に進むことで、多くのメリットが生まれます。

従来型業務との比較

さらに表示 

従来型業務との比較



複数人で行っている日々のデスクワークや月次処理、そして現場作業員との連絡や報告は、それぞれ個別に管理されており、一元的な流れになっていないケースが多くあります。そのため情報伝達や共有に無駄が発生し、社内業務が非効率になってしまいます。こうした状況下では、以下のような様々な課題が発生します。

具体的な課題例

業務効率の低下

情報共有に時間がかかり、無駄な作業や重複作業が発生する

コミュニケーション不足

部署や担当者間の情報共有が不足し、連携がうまく取れない

ミスやトラブルの増加

情報の伝達ミスや漏れが発生し、正確な業務遂行が阻害される

業務のブラックボックス化

各担当者の業務進捗状況が把握しづらく、適切な進捗管理ができない

このように、現状を課題として捉え、具体的な問題点を挙げることで、システム導入の必要性をより明確に訴求することができます。

デジタルツール導入の課題

他のサービスやアプリの導入を検討している方はこちらをご覧ください。

改善効果に疑問を感じる方はこちらをご覧ください

導入済みのサービスやアプリに対して期待したほどの効果が出ていないと感じる場合は、業務プロセス全体を俯瞰[ふかん]せずに一部分だけを切り取って見ていることが原因かもしれませ...

業務プロセス全体が俯瞰できない理由（前提条件）

下図は、クリーンマネージャーで管理できる業務範囲です

業務プロセス全体が俯瞰できない理由（case1）

1. 規模が大きい企業の例 システム管理者の目線 システムの健全性やデータの保存に興味を示します 経営者の目線 収支実績やそのレポートに興味を示します 各担当者の目線 課題： 役職...

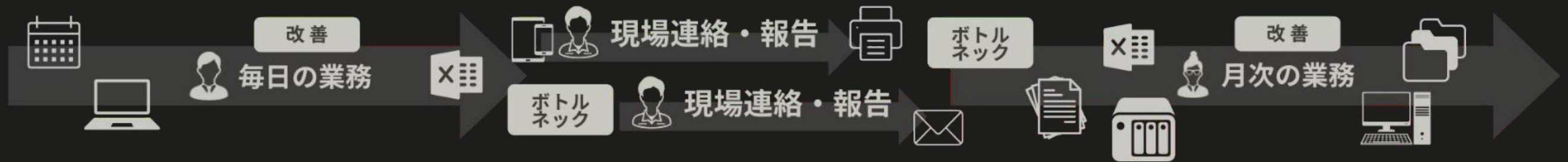
業務プロセス全体が俯瞰できない理由(Case2)

2. 規模が小さい企業の例 課題： 経営者や次席の方が全ての業務に携わっているため、全体像を把握しやすい点は大きな強みです。しかし、多忙な業務に追われる傾向が強く、業務改善に...

クリーンマネージャーからのご提案

さらに表示 ▾

改善効果に疑問を感じる方はこちらをご覧ください



導入済みのサービスやアプリに対して期待したほどの効果が出ていないと感じる場合は、業務プロセス全体を俯瞰[ふかん]せず一部分だけを切り取って見ていることが原因かもしれません。

この場合、特定の箇所を改善しても、全体最適化の観点から見ると、ボトルネックが発生していたり、新たな業務が増加してしまう場合もあります。

※(参考)クリーンマネージャーで見る業務プロセス全体のイメージ図



毎日の業務



現場連絡・報告



月次の業務

業務プロセス全体が俯瞰できない理由（前提条件）

下図は、クリーンマネージャーで管理できる業務範囲です

出面管理	スケジュール管理	応対管理	事前届管理	現場作業	作業確認	報告書作成提出	請求管理
出退勤登録	作成	作業追加	抽出	作業確認	作業時間確認	報告書作成	請求内容確認
作業参加登録	変更	作業変更	届け出・提出	開始	出面確認	写真報告書作成	追加項目登録
	中止	中止連絡	受理	終了	点検内容確認	完了直後報告	請求書作成
	開始	相談		点検記録	作業写真確認	社内承認後報告	請求データ作成
	完了	クレーム		写真撮影	報告書内容確認	一括出力報告	
	手配			トラブル報告			
	発注			出面管理			
共有	連絡・共有	連絡・共有	連絡・共有	連絡・共有	確認登録	連絡・共有	
	データ整理			データ保存			

業務プロセス全体が俯瞰できない理由 (case1)

1. 規模が大きい企業の例

システム管理者の目線



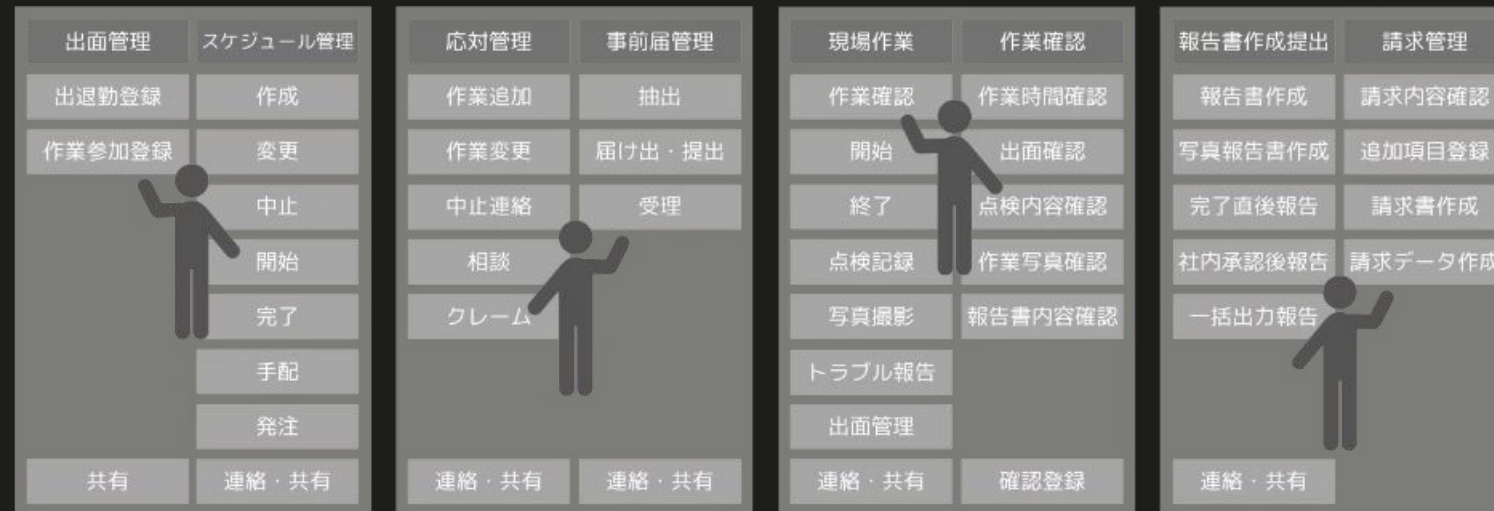
システムの健全性やデータの保存に興味を示します

経営者の目線



収支実績やそのレポートに興味を示します

各担当者の目線

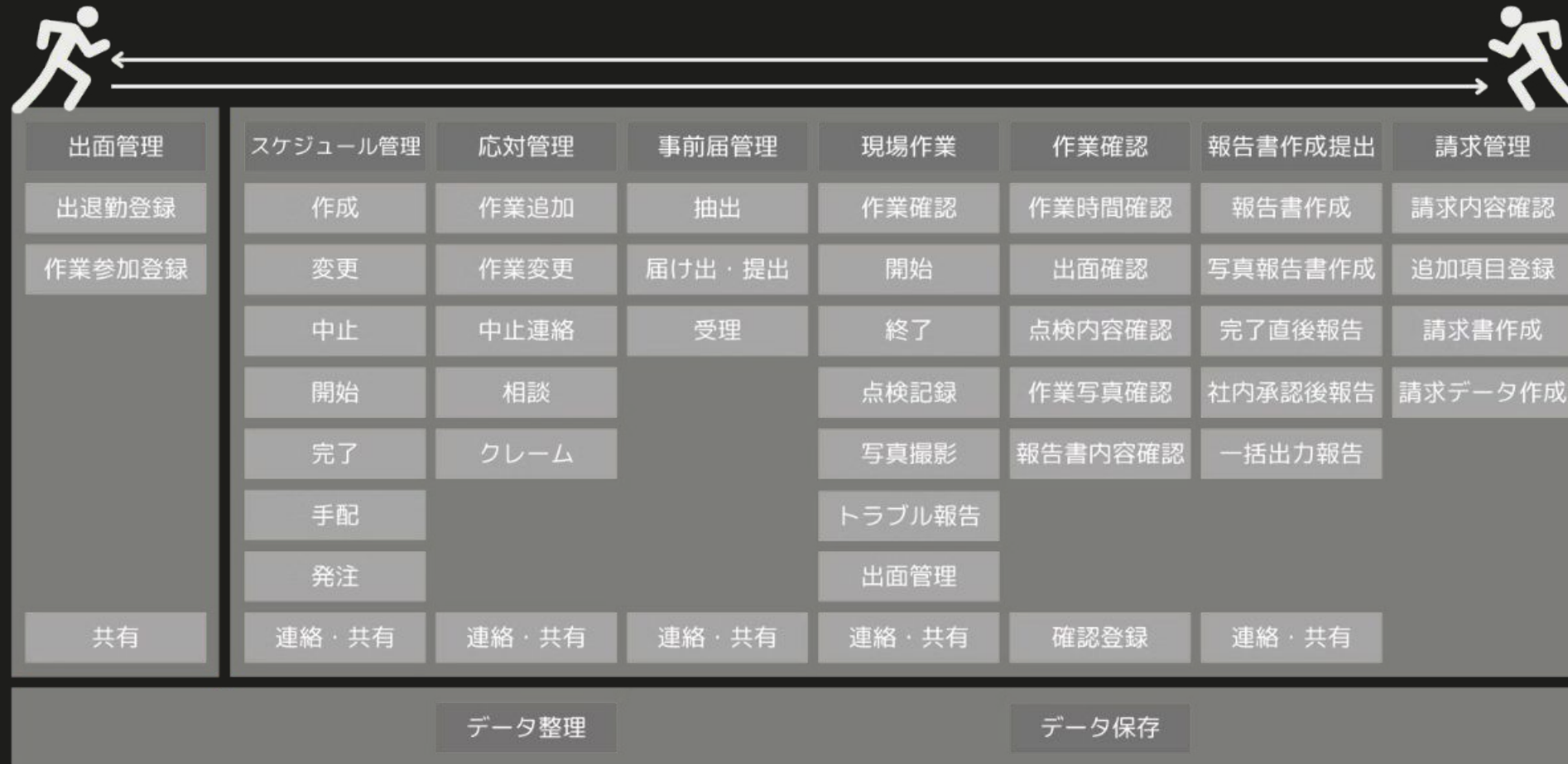


課題:

役職や担当ごとに業務の見える範囲が限定されるため、全体像を把握しきれず、プロセス全体の最適化が難しくなる場合があります。

業務プロセス全体が俯瞰できない理由 (Case2)

2. 規模が小さい企業の例



課題:

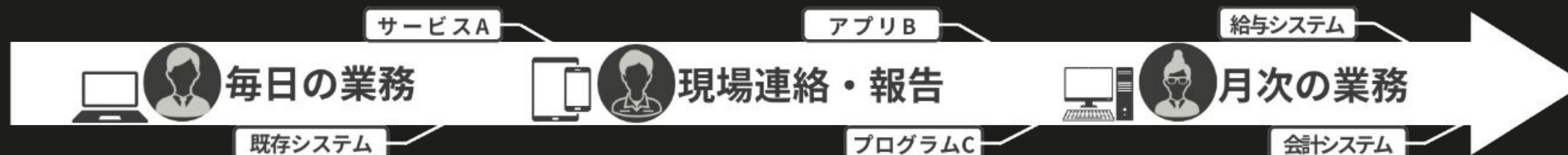
経営者や次席の方が全ての業務に携わっているため、全体像を把握しやすい点は大きな強みです。しかし、多忙な業務に迫る傾向が強く、業務改善に集中する時間やリソースを確保することが難しいという課題を抱えてしまいます。

クリーンマネージャーからのご提案

業務プロセス全体を俯瞰できるクリーンマネージャーを基盤とし、不足する機能を補完するツールやサービスと組み合わせることで、無駄なくより効率的な業務の進め方が可能になります



出面管理	スケジュール管理	応対管理	事前届管理	現場作業	作業確認	報告書作成提出	請求管理
出退勤登録	作成	作業追加	抽出	作業確認	作業時間確認	報告書作成	請求内容確認
作業参加登録	変更	作業変更	届け出・提出	開始	出面確認	写真報告書作成	追加項目登録
	中止	中止連絡	受理	終了	点検内容確認	完了直後報告	請求書作成
	開始	相談		点検記録	作業写真確認	社内承認後報告	請求データ作成
	完了	クレーム		写真撮影	報告書内容確認	一括出力報告	
	手配			トラブル報告			
	発注			出面管理			
共有	連絡・共有	連絡・共有	連絡・共有	連絡・共有	確認登録	連絡・共有	
	データ整理			データ保存			



委託先や得意先との共同利用メリット

— 共同利用が増えるほど、そのメリットが大きくなり立派な次世代型管理システム —

1

情報共有の効率化

スケジュール変更や作業完了報告がリアルタイムで共有されます。

スケジュールの変更連絡は必要ありません。

2

報告業務の簡素化

社内承認と同時に得意先に共有される設定など、細かな設定での利用が可能です。

完了連絡、メール添付やFAXでの報告書の提出は必要ありません。

3

無駄な作業の削減

作業仕様、図面、作業履歴、事前届の提出状況、作業日の変更履歴、作業写真の撮影箇所や点検箇所の設定情報も作業前から共有され、連絡の煩わしさから解放されます。

4

大幅なコスト削減

連絡報告の手間と時間、通信費、書類の保存や収納管理、それらに月次作業も含めて考えた場合、大幅な時短とコストの削減につながります。

作業管理業務を複数企業で分業化する圧倒的なコストパフォーマンス

3次元スケジューラーの特徴と効果

共同で分業管理

一つの仕事を複数企業で分業管理

受注も発注も

ひとつのアカウントで受発注が可能

仕事ごとの利用設定

受注と発注を仕事ごとに設定できる

日常の業務から月次業務までをパッケージ化し、そのまま受発注での共同管理までを実現！

比較対象は不可能！ 他には真似できない、特許を取得した 3次元スケジューラーの機能

1

統合管理

自社、委託先、得意先のスケジュールとリソースを統合的に管理

2

リアルタイム共有

作業内容、予定、進捗状況をリアルタイムに共有・把握

3

効率化

情報共有の遅延や認識の齟齬による無駄を排除

4

最適化

共有情報と個別情報を同時に、しかも

それぞれの立場で表示・出力

パソコンとスマートフォンの使い分け



管理者(パソコン)

各種情報の登録や設定、データ分析などを行います。



作業員(スマートフォン)

作業スケジュールの確認、現場からの報告、情報共有などを行います。

スマートフォンの主な機能

スケジュール確認

個人の予定、出退勤、作業参加記録の確認ができます。

現場報告

作業の開始・完了報告、点検確認、写真撮影・登録、手書きサインの受領も可能です。

情報確認

現場データ、ナビゲーション対応の物件住所、図面や仕様書の確認、事前届や作業予定の変更履歴も確認できます。



導入効果のまとめ

1

業務の効率の改善

スケジュールの自動作成、報告書作成の自動化、各種連絡や報告などの時短と俗人化を低減。
手配漏れや連絡漏れを大幅に削減することができるデータ連携。

2

時短とコストの削減

連絡・報告業務の低減。紙と印刷費用、FAX通信コストを削減。
毎日の仕事だけでなく、月次作業の労力と時間を大幅に削減。

3

情報の一元管理

作業状況や作業履歴、各種報告、要望やクレーム、トラブル報告。検索や探索時間の大幅な削減。

4

現場作業の効率化

スマートフォンでのスケジュール確認と作業報告。
帰社後の連絡や報告業務を削減。

作業管理にかかる手間と時間を大幅に削減、ヒューマンエラーを抑制し業務効率を飛躍的に向上させます

物理的なコスト削減

紙・通信費

労務の改善

無駄な労務時間を時短

ミス・ロスの低減

転記ミスや、再計算を不要化

※ 実際の効果は、現在のお客様の管理状況により異なります。

お勧めの導入手順

最初は必要な機能のみを利用して、費用対効果が見合う使い方から始めてください。

管理する現場や作業の数を限定し、使い慣れるに従い増やしていくという使い方できます。

費用対効果を考えながら、無理なく利用していく使い方をお勧めします。

1

スケジュール管理

作業予定の共有や進捗管理から始めます。

2

報告書の収集

現場からの報告業務および報告書の提出業務を効率化します。

3

更なる活用

請求データ作成、勤怠管理など、他の機能も活用していきます。

導入サポートプランをご用意

全社的な導入など、最初から最大限の効果を発揮させる利用を希望される場合は、別途有料の「導入サポートプラン」の利用をご検討ください。導入時のデータ登録、各種設定の他、初期運用、月次作業のサポートなどご要望に合わせたお手伝いさせていただきます。

クリーンマネージャーの利用料金

0円

初期費用

導入時の初期費用は不要です。

ご利用料金は、以下の4つの項目によって決まります。

作業台帳数

「管理する」物件数、現場数、作業数などとしてお考え下さい。

下請けの立場で共同利用する場合、この数は計算対象外となり、お得に利用できます。

※ 共同利用を利用する場合は、お得な料金でご利用いただけます。取引先にもお気軽に薦められるサービスです。

※ その他に、データ保存料金が加算される場合があります。

※ 詳細は [こちらのサイト](#) でご確認ください。

※ どの料金プランを選んでも、利用できる機能は同じです。

2ヶ月

無料試用期間

2ヶ月間無料でお試しいただけます。

作業票/月

ひと月に作業する、作業スケジュールの数としてお考え下さい。

下請けの立場で共同利用する場合、契約プランによってはお得な単価でご利用いただけます。

PDF発行数/月

報告書や請求書をPDFで出力した場合にカウントされます。

下請けの立場で共同利用する場合、報告書の提出は不要になるためカウントされません。

3000円

最小月額

月額3000円から利用可能なプランがあります。

利用者数

管理者2000円/人・月

一般利用者500円/人・月

一般利用者は現場からスマートフォンを利用し報告する方の利用イメージです。契約プラン毎に、パッケージされた利用者数が異なります。

Benefits

Benefits

コスト削減効果の試算例

前提条件

1日あたり2時間の管理業務

人件費時給2,000円

月間20日勤務

現状のコスト

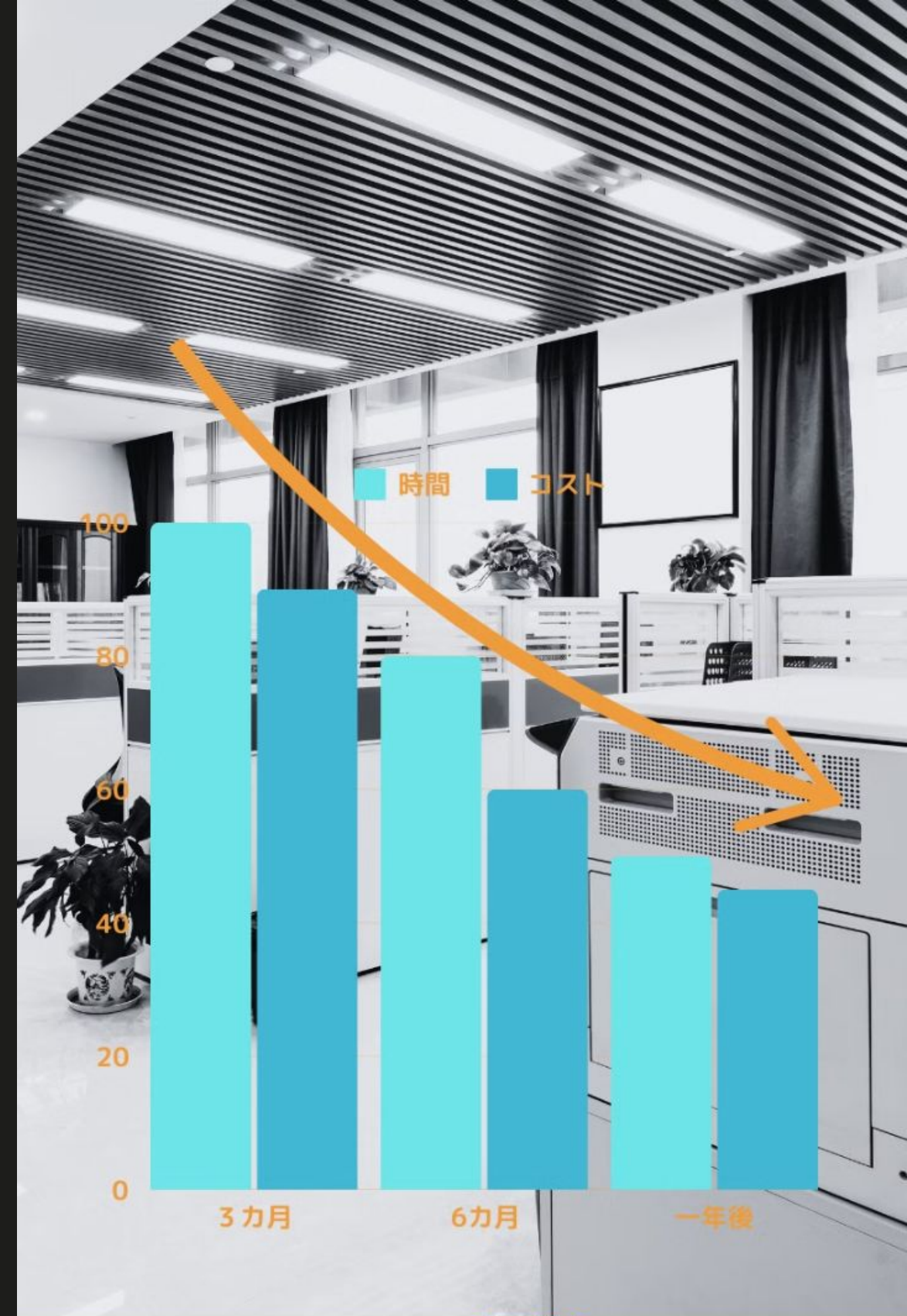
80,000円/月

(2時間 × 2,000円 × 20日)

削減効果

40,000円/月

(作業時間50%削減と仮定)



クリーンマネージャーに搭載されていない機能

見積作成・契約管理

日常的に行う業務ではないため、専門性の高いサービスの利用をお勧めします。

給与計算・有休管理

専門サービスとの連携を推奨しています。クリーンマネージャーの実績値をエクスポートして利用できます。

開発理由

1

現場作業主体企業の課題解決

社内スケジュールの共有、報告データの効率的な収集と提出、情報共有の迅速化の実現を目指しました。

3

物件・設備オーナーの管理改善

管理の依存体質を軽減し、リアルタイムでの情報共有ができる仕組みを目指しました。

2

管理業務主体企業の差別化

基本情報は共有しながら、独自の管理技術やノウハウを活かし、効率化とコスト削減が可能な仕組みを目指しました。

4

業界全体の生産性向上

導入企業の増加による、業界全体の生産性向上とコストの削減を目指しています。

クリーンマネージャーの可能性

クリーンマネージャーは、お客様の状況や要望に合わせた効果的な使い方ができる柔軟なサービスです。

業務効率化やコスト削減を通じて、皆様のビジネスの発展に貢献します。

DXの推進やERPの実現に向けてもクリーンマネージャーは重要なピースになります。是非ともご検討ください。

まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

専用サイト

資料ダウンロード

This Web Site Image

CleanManage Flier

ソリューション別 資料

ソリューション別 資料

